

漁海況情報

平成20年11月6日 第24号(通巻383号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

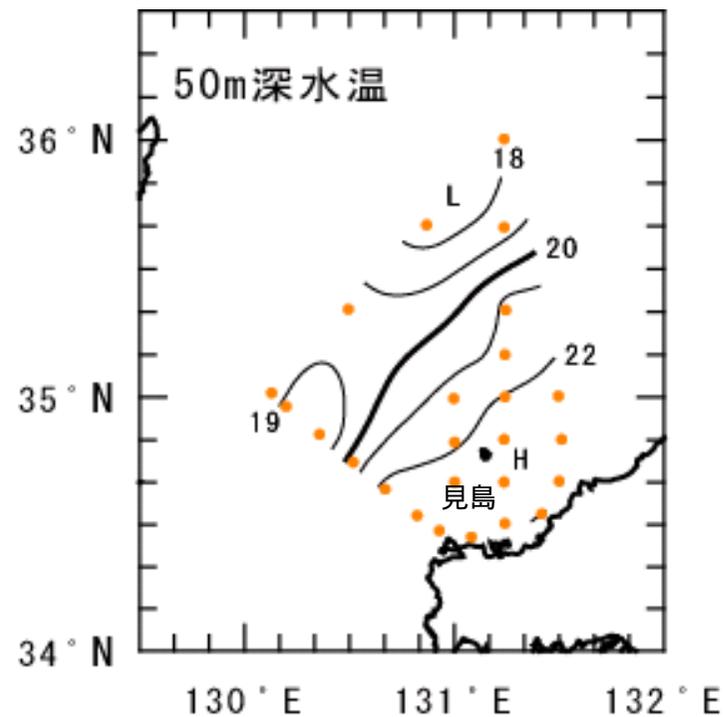
TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

くろしおによる海洋観測

11月4～6日にかけて、漁業調査船「くろしお」で定線観測を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【50m深の水温分布】

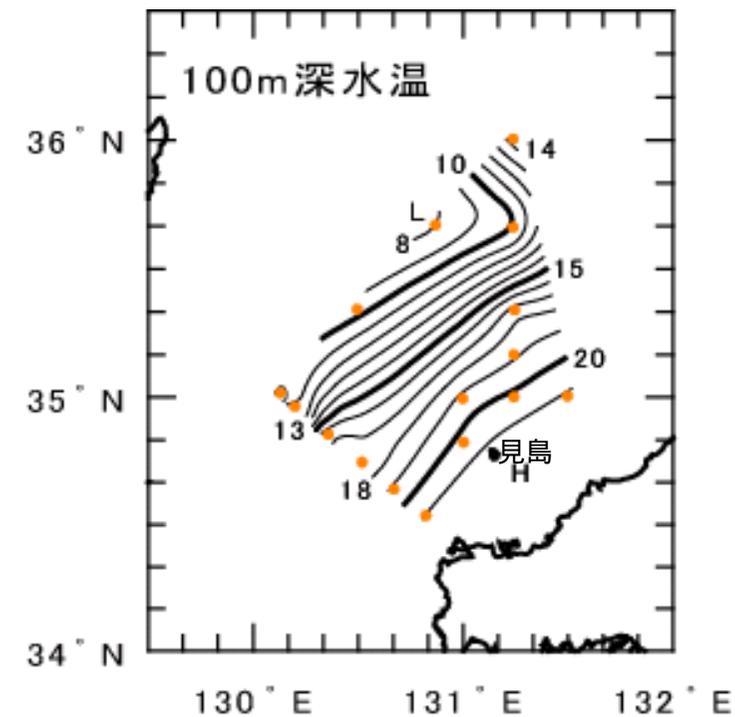
見島から沿岸では22℃台でかなり高め(+1.1℃)で、見島から沖合は17～22℃台で平年並み(-0.1℃)でした。



【100m深の水温分布】

冷水域(北緯35度30分、東経130度50分付近)の張り出しが強まり、見島から沖合ではやや低め(-2.1℃)でした。

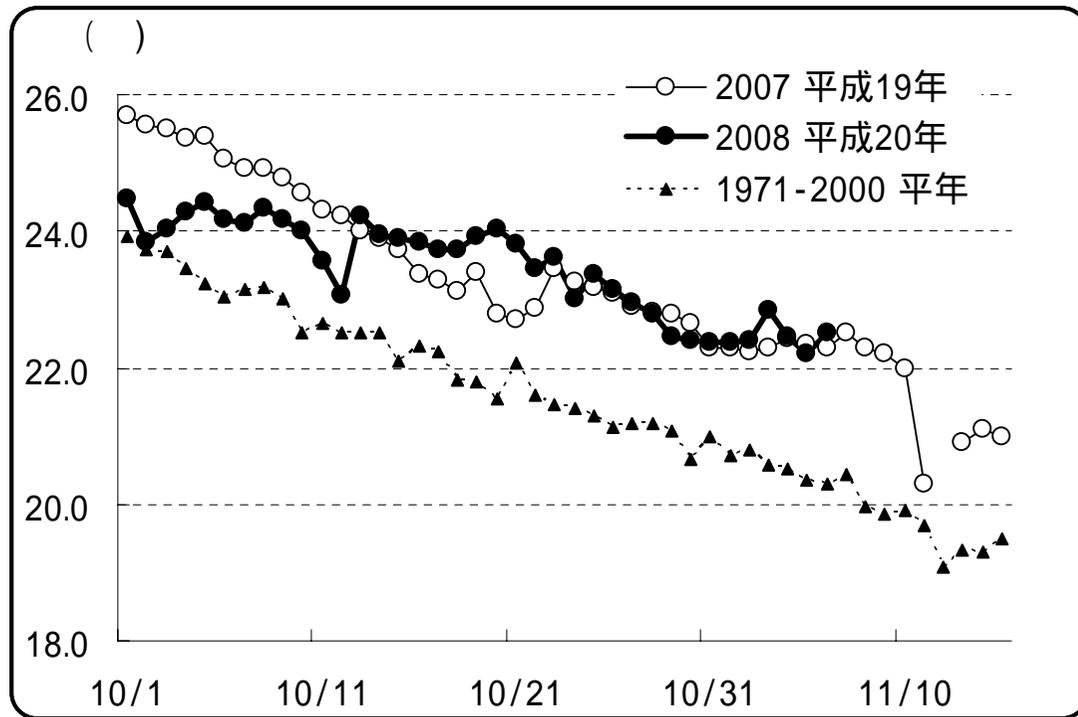
見島から沿岸域は、やや低め(-0.9℃)でした。



【萩 - 見島フェリー観測の表層水温】

10月1日以降の表層水温の日変動

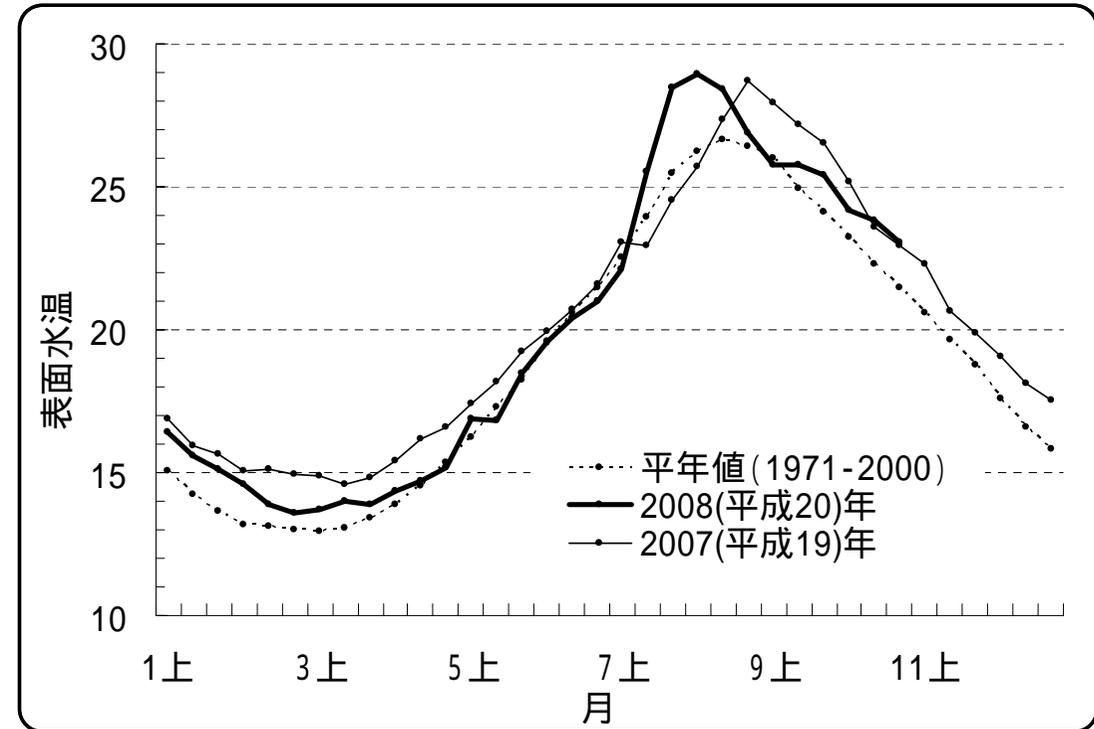
萩 - 見島フェリーの観測による萩沖の表層水温は降温傾向にあります。下のグラフによると、10月中旬以降、前年、平年を上回って推移していましたが、10月下旬に入り平年を上回り前年並みで推移しています。11月6日の表面水温は22.50 で、前年に比べ0.20 低め、平年に比べ2.22 高めとなっています。



萩NNW15マイル沖表層水温 (10月1日以降)

表層水温の旬平均の変動

下図の旬平均の時系列によると、10月以降は平年を上回り、前年並みで推移していることがわかります。



萩NNW15マイル沖表層水温の旬平均

【魚礁調査情報 (見島地先)】

10月30日、調査船第2くろしおで見島地先の高層魚礁群 (山口北地区漁場整備事業 : 水深約90m) の効果調査を実施しました (図1)。

釣獲試験 (サビキ・タコベイト仕掛け、いずれもまき餌なし、4時間) では、クロマグロ (ヨコワ : 尾叉長37~50cm、14尾)、メダイ (ダルマ : 尾叉長37~40cm、4尾) のほか、カンパチ (アカバナ : 尾叉長36~39cm : 2尾)、ブリ (ヤズ : 尾叉長35cm : 1尾)、マハタ (ヤナセ : 全長33cm、1尾) が漁獲されました。

【魚礁位置】 日本測地系で表示しています。

①高層魚礁群

山口北地区漁場整備事業 : 既設13基のうち最も高い30m魚礁4基 (図中黒丸) の位置です。周辺に21mの魚礁 (図中白丸) があります。

- 34°44.801'N、131°06.676'E
- 34°44.801'N、131°06.937'E
- 34°44.582'N、131°06.676'E
- 34°44.810'N、131°07.144'E

②間伐材試験礁 (間伐材付き3基、間伐材なし3基、計6基)

- 34°45.048'N、131°07.159'E (間伐材付き)
- 34°45.027'N、131°07.133'E (間伐材付き)
- 34°45.027'N、131°07.185'E (間伐材付き)
- 34°45.051'N、131°07.483'E (間伐材なし)
- 34°45.029'N、131°07.457'E (間伐材なし)
- 34°45.030'N、131°07.510'E (間伐材なし)

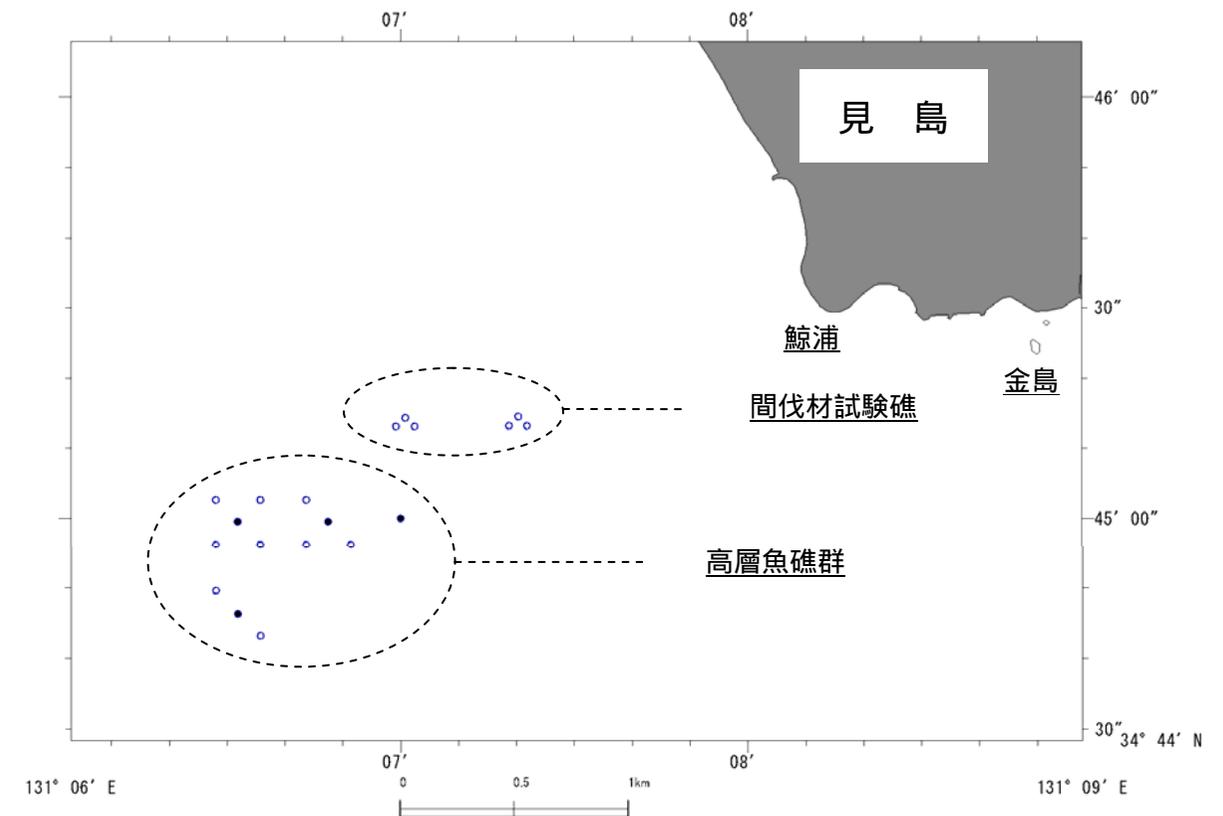


図1 今回の調査場所